科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
現代の国語	1年次以上	必履修	通年	40	2	6	2

科目の概要	ともに学ぶ生徒、教員、自分自身と言語を通して出会う経験を重ね、社会でともに生きていく姿勢、態度を養います。
科目の目標	学習活動を通して、聞き取る力、伝える力を高め、思考する力、想像力などを伸ばし、言語を用いての表現を重ね、日本語力の向上、社会に働きかける態度を身に付けます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
『オイッ、人間失格』 『ももこのいきもの図鑑』	・ 筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲を持ちます。 ・ 説明の仕方に注意して文章を読みます。 ・ POPな表現の工夫を知り、自らの表現の幅を広げます。	1回	1回 2回 3回 4回	実施予定なし
聞き取りのレッスン ミニインタビュー	・ 必要な情報を相手から引き出すことができるよう質問し、正確に聞きとります。 ・ 聞き取った情報を整理し、編集したり、わかりやすく効果的な文章を書きます。	2回	5回	
自分の考えを深め、作文にして表現しよう	・ 自分自身や周囲の存在に目を向け、共感や感動、思考の道筋を伝える文章を書きます。		6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を6回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「新編 現代の国語」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
言語文化	1年次以上	必履修	通年	40	2	6	2

科目の概要	学習活動を通して、昔のことばや文化に触れ、言語感覚をゆたかにしていきます。ことばのおもしろさや楽しさ、奥深さを知ることによって、自分の興味関心を広げます。また昔の文化を想像し知ることで、今の自分をとりまく様々なものとのつながりを知ります。
科目の目標	1．昔のことばや文化に触れることによって、想像力を磨き、ことばのおもしろさを知ります。 2．昔と今を対比することで、今の自分たちをとりまく言語や文化についてより深く見つめる力を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
歴史的かなづかい ・歴史的かなづかいの読み方を知り、文章を読もう。	・ 歴史的かなづかいの読み方を知ります・文章を読みながら今の読み方になおし、鉛筆で書きます。	1～2回	1回 2回	実施予定なし
枕草子（うつくしきもの、うれしきもの） ・古文を読み、現代語訳しよう。	・ 古文に慣れ、文章の内容を正確に読み取ります。 ・ 清少納言の「うつくしきもの」「うれしきもの」について書かれた文章に触れ、自己のものの見方や感じ方にひきつけて考えます。		3回 4回	
徒然草 ・古文を読み、現代語訳しよう。	・ 古文に慣れ、文章の内容を正確に読み取ります。 ・ 兼好法師の「友とするにわろき者」「雪のおもりろう降りたりし朝」の文章に触れ、自己のものの味方や感じ方にひきつけ考えます。		5回 6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を6回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「新編 言語文化」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
文学国語	2年次以上	選択履修	通年	80	4	12	4

科目の概要	身近な大人である本校の教員の人生や思い出に言語を通して触れ、出会うことを通して、自分自身やともに学ぶ生徒と出会います。自己理解や他者理解を深め、社会でともに生きていく姿勢、態度を養います。
科目の目標	1．学習活動を通して、人の思いや考えを聞き取る力、他者に伝える力を高め、思考する力、想像力、表現力などを伸ばします。 2．言語表現を重ねることで日本語力を高め、自己を見つめ表現する力を養います。

年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
	『あたりまえなことにありがとう』	・ 評論的な随想の読み方を習得します。 ・ 「ありがとう」という言葉の本来の意味を知り、「有難い」ということ、自らのあり方について思いめぐらし考えます。	1～2回	1回 2回	実施予定なし
	文章から読み取れたことを言葉と絵で表現しよう	・ 短い文章から主人公、登場人物の性格・行動を的確に読み取ります。 ・ 読み取った内容を先輩の作品を参考にして、絵や言葉で表現します。		3回	
	絵から読み取れることを文章で表現しよう	・ 絵に表現されている事柄を読み取り、また先輩の作品を参考にして、自由に物語を作成し絵や言葉で表現します。		4回	
	図の中にある漢字をみつけよう	・ 図の中に隠されている漢字を他の人と協力し見つけていくによってものの見方と他者への理解を広げます。		5回	
	漢文訓読の学習	・ 日本語と漢文の文法上の違いを知ります。 ・ 訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解します。		6回	
	『チゴイネルワイゼン』	・ 随想の読解方法を習得します。 ・ 筆者の「チゴイネルワイゼン」という曲についてのその時々の思い出を理解します。 ・ 戦争が個人の人権をどう奪うものであるかという筆者の考えに触れ、戦争と平和と芸術について考えます。	3～4回	7回 8回 9回 10回	
	聞き取りのレッスン ミニインタビュー	・ 必要な情報を相手から引き出すことができるよう質問し、正確に聞きます。 ・ 聞き取った情報を整理し、編集したり、わかりやすく効果的な文章を書きます。		11～12回	
	自分の考えを深め、表現しよう	・ 自分自身や周囲の存在に目を向け、共感や感動、思考の道筋を伝える文章を書きます。			

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を12回提出してください。 ・ 2年次以上で4単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 標準文学国語」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
国語表現	3年次以上	選択履修	通年	80	4	12	4

科目の概要	ともに学ぶ生徒、教員、自分自身と言語を通して出会う経験を重ね、社会でともに生きていく姿勢、態度を養います。
科目の目標	学習活動を通して、聞き取る力、伝える力を高め、思考する力、想像力などを伸ばし、言語を用いての表現を重ね、日本語力の向上、社会に働きかける態度を身に付けます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
「大切な人への手紙」を絵で表現しよう	・ 先輩たちの絵手紙作品を参考に、文章と絵を用いて思いを伝える表現を工夫します。	1回	1回	実施予定なし
短所を長所に言いかえよう	・ 自らの短所を言葉にしてつかみ、客観的に自身を見つめる機会を持ちます。 ・ その短所を長所に他の人の力を借りて言いかえてもらう経験を通して言葉と他者への信頼を感じ取ります。		2回	
詩を読んでわかること	・ 言葉を通して読みとること、言葉になっていないことを想像して読みとることの練習を重ねます。		3回	
『どんな人になりたかったか？』	・ 評論的な随想の読み方を習得します。 ・ 筆者の考え方を知り、自身の十年後にどのようなことをしてどのような人と生活をしていたいか、どのようにしてその理想に近づいていくかを言葉を通して想像します。 ・ 他者の考えを聞き、言葉を通して個人の違いと共通していることについて実感します。	2回	4回	
			5回	
しりとりと○ん○ん	・ 字数の制限、制約のある中で言葉を用いての遊びをみんなで楽しみ、個性的な表現の仕方を知ります。		6回	
敬語の使い方を学ぼう	・ 場と相手により、正しい敬語の使い方を知ります。		7回	
『「心の単純化」に陥らないために』	・ 評論的な随想の読み方を習得します。 ・ 人のすべての感情は言葉を通して認識され表現されていることを知り、言葉の持つ意味と力を知ります。	3回	8回	
			9回	
秋桜の先生の名前	・ 本校で、ともに楽しみともに育ち合う時間を過ごしてきている先生たちの名前、先生たちの思いを知りながら、自分たちがどんな時間を過ごしてきたのかについて思い返します。		10回	
正式な手紙の書き方を学ぼう	・ 「拝啓、敬具」「時候の挨拶」などの手紙の表現形式に触れます。	4回	11回	
卒業文集に載せる作文の下書きをしよう	・ 先輩たちの卒業文集に載せられた作文を参考に、卒業にあたって自身が文章として残しておきたい意志、決意を見つめ形にします。		12回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を12回提出してください。 ・ 3年次以上で4単位修得します。

使用教科書	教科書：「国語表現」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
漢字入門	1年次以上	選択履修	通年	40	2	6	2

科目の概要	学習活動を通して自己を主体的に表現し、生きていく意欲を高めるための基礎的な能力を伸ばし、自己と他者との理解を深めます。
科目の目標	1．主体的に取り組むとともに、互いのよさを認め合い、新たな価値を想像していく力を高めます。 2．全ての学習の基盤となる資質、能力を育み、活用します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
基本の確認 ・字形を整え、文字の大きさや線の多様さなどを理解します。	・ 書く時の姿勢や硬筆の持ち方を正しく理解します。 ・ 様々な表現を知り、自己理解を深めます。	1回	1回 2回 3回	実施予定なし
名前を書こう ・身の回りの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れます。	・ 毛筆を使い、自分の名前を丁寧に書きます。 ・ 自己と他者の表現の違いを認め合います。	2回	4回 5回 6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート作品） ・ 試験（実技テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート作品）を6回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	受講の際、書道用具（墨・毛筆・半紙）は、全て学校で用意します。 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
漢字演習	3年次以上	選択履修	通年	20～60	1～3	3～9	1～3

科目の概要	学習活動を通して自己を主体的に表現し、生きていく意欲を高めるための基礎的な能力を伸ばし、自己と他者との理解を深めます。
科目の目標	1．物事を思考し判断する際に用いている日本語、その重要な部分を担う漢字について主体的に学習に取り組み読み、書き、熟語、部首、言葉の意味などの力を身につけます。 2．全ての学習の基盤となる資質、能力を漢字能力検定の過去の問題に取り組む中で育みます。

年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
	漢字検定の過去の問題に取り組もう	・ 自身の漢字についての知識・能力に応じてふさわしい級の過去の問題に取り組み、読み、書き、熟語、部首、言葉の意味などについて学習し身につけます。	1回	1回 2回 3回	実施予定なし
	漢字検定の過去の問題に取り組もう	・ 回数を重ねる中で前回の学習内容を振り返り、更に上級の問題に取り組み、読み、書き、熟語、部首、言葉の意味などについて学習し身につけます。	2～3回	4回 5回 6回 7回 8回 9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、1～3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3～9回提出してください。 ・ 3年次以上で1～3単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
地理総合	1年次以上	必履修	通年	36	3	9	3

科目の概要	持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察することに加え、グローバルな視座から国際理解や国際協力のあり方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察し、地図や地理情報システム（GIS）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得します。
科目の目標	1．地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を付けます。 2．地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりするカや、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。 3．地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導（ｽｸｰﾘﾝｸﾞ）	報告課題（ﾚﾎﾟｰﾄ）	メディア学習
地図や地理情報システムでとらえる現代世界 ①世界の国々	・ 地理学習の導入として、世界の中の日本の位置や大陸の位置を確かめます。 ・ 世界地図を活用し、世界のさまざまな国を眺めていきます。	1～3回	1回	実施予定なし
地図や地理情報システムでとらえる現代世界 ②方位といろいろな地図	・ 地図における基本の四方位について理解し、正しく活用します。 ・ 地図にはさまざまな種類が存在することについて理解します。 ・ 地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。		2回	
地図や地理情報システムでとらえる現代世界 ③緯度と経度	・ 地軸の傾きや自転・公転による影響を理解します。 ・ 地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考えます。		3回	
文化の地域性と多様性	・ 地域によって文化が異なる理由について理解します。 ・ 文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。		4回	
防災とハザードマップ	・ 日本列島において火山活動が活発な理由を理解し、火山活動にともなう災害の種類を知ります。 ・ 過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解します。 ・ ハザードマップを利用し、身近な地域の自然災害の可能性を読み取ります。		5回	
持続可能な地域づくり ①環境・資源・エネルギー問題	・ エネルギー資源の種類について理解します。 ・ 生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を理解します。		6回	
持続可能な地域づくり ②人口・食料・都市問題	・ 発展途上国と先進国が抱える人口問題を理解し、その要因や人々におよぼす影響を理解します。 ・ 食料問題が生じる背景について理解します。		7回	
持続可能な地域づくり ③民族問題・難民問題	・ 難民が発生する原因や、民族問題の背景について理解します。 ・ 民族問題の歴史的背景について、具体的な事例をあげて考察します。		8回	
生活圏の調査と地域の展望 〈学校のまわりしらべ〉	・ 身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解します。 ・ 身近な地域で生じている課題を発見し、その要因をさまざまな角度から分析します。		9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を9回提出してください。 ・ 1年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書：「地理総合」 東京書籍
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
歴史総合	1年次以上	必履修	通年	36	3	9	3

科目の概要	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とします。
科目の目標	1．近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解します。 2．資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。 3．近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養います。 4．近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
近代化と私たち ①交通と貿易、産業と人口	・ 産業革命がなぜイギリスから始まったのかを理解します。 ・ 産業革命が当時の人々の生活や社会へおよぼした変化を理解します。 ・ 日本で「鎖国」政策の転換がせまられ、貿易が開始することが、その後の政治に与えた影響について理解します。 ・ 中国の開港・日本の開国と産業革命との関係について考察します。	1～3回	1回	実施予定なし
近代化と私たち ②権利意識と政治参加、国民の義務	・ アメリカ独立革命が1つの市民革命であったことを理解します。 ・ フランス革命のなかで民衆が目指した様々なことについて理解します。 ・ アメリカ独立革命とフランス革命が世界各地に与えた影響について理解します。		2回	
近代化と私たち ③学校教育、労働と家族	・ 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し、表現します。		3回	
国際秩序の変化や大衆化と私たち ①第一次世界大戦の展開	・ 第一次世界大戦がなぜ最初の「大戦」となったのかを理解します。 ・ 第一次世界大戦と日本の関わりについて理解します。 ・ 第一次世界大戦にアメリカ合衆国がどのように関わっていたのかを理解します。		4回	
国際秩序の変化や大衆化と私たち ②アジアの中の日本	・ 日本が満洲事変を引き起こした理由と日中戦争に至る背景を知り、そのことが国内政治や国際関係に与えた影響について理解します。 ・ 第二次世界大戦にアメリカ合衆国と日本がどのように関与したかについて、その背景や経緯をふまえて理解します。		5回	
国際秩序の変化や大衆化と私たち ③戦後の国際関係と日本の改革	・ 日本国憲法の成立について、その経緯を理解するとともに、日本の政治や社会への影響を諸資料を用いて説明できるようにします。 ・ 戦後の政治や社会について、戦前からの連続や断絶の観点から理解します。		6回	
国際秩序の変化や大衆化と私たち ④大衆政治・社会・生活様式の変化	・ アメリカ合衆国からはじまった大衆消費社会が日本にも広がり、新しい生活様式や価値観が都市部を中心に広がったことについて理解します。 ・ 高等教育の拡充やマスメディアの発達が大衆消費社会の発展や政治に与えた影響について理解します。		7回	
グローバル化と私たち ①冷戦と国際関係	・ 冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたのかを理解します。 ・ 東西両陣営の社会がどのように変容したのかを、アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国の関係やソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力などを通じて理解します。		8回	
グローバル化と私たち ②多様な人々の共存	・ 国民統合や他民族社会に関する諸資料をもとに問いを立てていきます。 ・ 具体例として、南アフリカのアパルトヘイト政策の内容と撤廃までの経過を理解します。		9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を9回提出してください。 ・ 1年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 山川出版社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
日本史探究	2年次以上	選択履修	通年	45	4	12	4

科目の概要	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、その意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、地理的条件等に関連付けながら学び、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養います。
科目の目標	1．日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解します。 2．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養います。 3．歴史的な資料や図表を活用し、時代背景を理解します。 4．1～3で養った知識や概念などを活用して、我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを多面的・多角的に考察したり説明できるようになります。また、それらを基に議論する力を養います。 5．よりよい社会の実現を主体的に求めようとする態度を養い、自国や他国、お互いの文化を尊重することの大切さについての自覚を深めます。

年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
	時代の流れ	・ 日本史の時代の流れを確認します。 ・ 時代が変わるときには文化的な転換や政権の交代、譲位などがあったことを知り、日本が国家として変容してきた過程を理解します。	1～4回	1回	実施予定なし
	縄文時代、弥生時代	・ 人間がまだ文字を知らない時代の歴史は、地中に埋まっている遺跡から知ることができることを理解します。 ・ 狩猟・採集によって生活を営んでいた平等な社会から、農耕がはじまることにより貧富の差があらわれ、権力者が出現してくることの意味を考えます。		2回	
	古墳時代、飛鳥時代	・ 自分たちの地域に残る古墳の歴史的な意味の重要性を理解します。 ・ 中国など東アジア地域との関係のなかで成立した国家として古代日本を捉えます。		3回	
	奈良時代	・ 奈良時代の政治・経済・文化の特徴を知ります。 ・ 奈良時代の税制の特徴を知り、その目的を考えます。 ・ 奈良時代の中国と日本の関係性を、仏教を通して考えます。		4回	
	平安時代	・ 律令社会の変質過程を考えます。 ・ 藤原氏が摂政関白として権力をもつようになる過程を理解し、国風文化の誕生について知ります。		5回	
	鎌倉時代	・ 武士がしだいに権力を獲得していく過程を理解します。 ・ 御家人制度を基盤とする鎌倉政権の意義を考えます。		6回	
	室町時代	・ 室町幕府の性格を知ります。 ・ 惣村が形成されていく意義を考え、その特徴を理解します。 ・ 惣村を基盤とする一揆がなぜおこってきたのかを考えます。		7回	
	安土桃山時代	・ 有名な戦国武将について、各々がとった政策の意味を考えます。 ・ 下剋上の時代から戦国時代への変遷の背景を考えます。 ・ 城下町発展の背景を知り、現在もその面影が残っていることを確認します。		8回	
	江戸時代	・ 幕府はなぜ文治政治に転換したのかを考えます。 ・ 幕府の鎖国政策の目的を考え、それによって醸成された江戸時代の社会の特徴を理解します。 ・ 外国から日本への要求を知り、ペリー来航による日本社会への影響を考えます。		9回	
	明治時代	・ 新政府の基本政策の特徴を知り、それによって人々の暮らしがどう変わるのかを考えます。 ・ 新政府は民衆の支持を受けたのかどうかを考え、そこから自由民権運動へと高まっていく民衆の意識の変化を理解します。		10回	
	大正時代、昭和時代、そして現代	・ 普通選挙運動の拡の過程を知り、人権としての選挙権について理解します。 ・ 言論の自由が保障されないことで国民が戦争に総動員されていくという時代背景を理解します。 ・ 敗戦によって人々の平和への思いが強いものとなり、それが新憲法を生み出し、国や国民を守る力になっていくことを理解します。		11回	
	日本国憲法とこれからの日本	・ 国民主権とはどのようなものであるかを理解します。 ・ 日本国憲法で保障されている基本的人権の意義を理解します。 ・ 21世紀の日本社会の特徴と課題を考え、適切に表現します。		12回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を12回提出してください。 ・ 2年次以上で4単位修得します。

使用教科書	教科書：「精選日本史探究 今につなぐ 未来をえがく」 実教出版
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が50分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
世界史探究	3年次以上	選択履修	通年	50	4	12	4

科目の概要	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、その意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、地域相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、地理的条件等に関連付けながら学び、よりよい国際社会を実現するために必要なことは何かを考えます。
科目の目標	1．世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解していきます。 2．文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる個人としての自覚と資質を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
「世紀」について学ぼう	・ 世界史を学ぶ上で欠かすことのできない「世紀」の考え方を理解し、様々な事象を相対的時間軸の中で位置づけることができます。	1～4回	1回	実施予定なし
エジプト文明とメソポタミア文明	・ エジプトとメソポタミアの古代文明の内容とその違いについて理解し、古代文明の後世への影響について考えます。		2回	
ギリシアとローマ	・ 地中海世界全体に広まったギリシアとローマの古典文化について理解し、それらがのちのヨーロッパの文化に与えた影響について考えます。		3回	
インド文明	・ インドの宗教の成り立ちとその対立・調和に着目して、現代社会とのつながりを考えます。		4回	
中国古代文明	・ 古代中国（秦～漢代）の文化や政治的の特色を理解し、中華帝国の形成過程について考えます。		5回	
イスラーム帝国の成立	・ イスラームの成立・拡大をその歴史的背景を中心に把握します。 ・ 私たちの暮らしの中であまり馴染みのない宗教であるイスラームの成立とその後の世界史への影響の大きさを理解します。		6回	
大航海時代	・ 大航海時代が訪れたことにより、世界の一体化が急速に進み、アジア、ヨーロッパ、アメリカといった現在の地理的な認識が知られるようになったことに着目します。		7回	
ルネサンスと宗教改革	・ ルネサンス・大航海時代・宗教改革という時代の大変動とともに、この時代に人間が得た新たな価値観が現在においても重要なものであることを理解します。		8回	
イギリスの産業革命とフランス革命	・ イギリスの産業革命によって資本主義社会が確立し、フランスにおける市民革命によって近代民主主義の理念と制度の原型が成立したことを把握します。		9回	
アメリカの独立と南北戦争	・ アメリカが、イギリスからの独立の過程で近代民主主義の理念に根差した社会を築こうとしてきたことを理解します。 ・ アメリカに根強く残る人種差別のルーツを知ることで、すべての人に平等に与えられている人権について考えます。		10回	
帝国主義と第一次世界大戦	・ 帝国主義列強による世界分割と「再分割」をめぐる列強の利害対立から第一次世界大戦が起こったことを理解します。 ・ 第一次世界大戦の総力戦としての性格を知り、ヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念と現実について理解します。		11回	
第二次世界大戦と戦後の世界	・ 世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、全体主義の台頭によって国際対立が生み出されて第二次世界大戦につながっていくことを理解します。 ・ 第二次大戦後の世界が、国際連合を中心にして世界の平和と民主主義を守り、基本的人権を尊重しようとしていることについて主体的に考えていきます。		12回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を12回提出してください。 ・ 3年次以上で4単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 世界史探究」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
公共	2年次以上	必履修	通年	26	2	6	2

科目の概要	グローバル化する現代の国際社会に主体的に生きる者として、平和で民主的な国家及び社会の主権者にあるべき資質や能力を、さまざまな概念や理論、情報等を通じて育成していきます。
科目の目標	1．現代の諸課題について、それを選択・判断するための手がかりとなる概念や理論を理解し、主権者として公正な判断ができることを目指します。 2．現代の諸課題を、事実を基に多面的・多角的に考察し、自分もまわりの人も大切にできる社会の形成者として考えを述べていく力を養います。 3．よりよい社会の実現のために、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考え、公共的な空間に生きる主権者としての自覚を育みます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
日本国憲法と三つの原理	・ 日本国憲法の基本原理を、国民主権、平和主義、基本的人権の保障、政治機構に即して理解します。	1～2回	1回	実施予定なし
基本的人権	・ 基本的人権は憲法の中でどのように保障され、生活の中でどのように生かされているのかを、教育を受ける権利を例にして考えます。		2回	
世論と政治参加	・ わたしたちの意見はさまざまな形で政治に反映されるので、公正な世論を届けるためにはどのようなことが必要かを考えます。		3回	
平和と安全保障	・ 日本国憲法の原点は、先の戦争の反省にあり、武力を否定しているものであることを理解します。 ・ 国際関係が変化する現代社会において、日本国憲法が示す「平和主義」はどのように実現されるべきかを考えます。		4回	
市場経済と消費者 消費者の権利と責任	・ 市場経済のしくみや市場価格のメカニズムについて知り、わたしたちが消費者としてどのようにかかわっているのかを理解します。 ・ 消費者が法律によって守られていることを知り、商品に関する情報をどのように取り入れて選択していくべきかを考えます。		5回	
持続可能な社会へ	・ 持続可能な社会の形成という観点を中心に身近な生活からヒントを得て、社会をよりよくしていくための方法について考え、適切に表現します。		6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を6回提出してください。 ・ 2年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「公共」 教育図書
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
倫理	3年次以上	選択履修	通年	38	3	9	3

科目の概要	青年期における自己形成に関心を高め、人格の形成と他者とともに生きる主体としての自己確立に努める実践的意欲を持ち、諸課題を探究し、在り方生き方への自覚を深めていきます。他者とともに生きる主体としての自己確立に広く課題を見いだし、人間の存在や価値について多面的、多角的に考察、探究し、広い視野に立って主体的に判断し、適切に表現します。
科目の目標	1．人間の在り方生き方を主体(自己)との関わりから考えます。 2．自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見いだし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究します。 3．人間としての在り方生き方について、キリスト教、仏教、儒教などの代表的な先哲の思想を手掛かりとして広い視野に立って考えます。 4．日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考えます。 5．「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について、人格形成に寄与する知識として理解します。 6．現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見いだし探究します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
倫理を学ぶにあたって /わたしたち自身をみつめる	・ 青年期の意義や課題を、自らの体験や他者や集団とのかかわりを視点として、自己確立につなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけます。 ・ アイデンティティとは何かを知り、青年期にアイデンティティを確立することが重要であることを理解します。	1～3回	1回	実施予定なし
人とのかかわりを考える	・ 自己の体験などを通して、青年期の意義と課題への関心を高め、自己形成に向けて意欲的に探究し、他者とともに生きる自己の生き方について、現代の倫理的課題と結びつけて考えます。		2回	
情報・メディアといかにつきあうか	・ 情報化社会の意義や課題を主体的に考察します。 ・ 情報リテラシーの必要性を、歴史的背景を知ることで実感するとともに、情報社会における自己実現のあり方について考えます。		3回	
生命倫理	・ 生命科学技術や先端医療が今日どのような倫理問題をもたらしているか、具体的な事例を通して考え、人間を人間たらしめているものは何かを考えます。		4回	
いのち/古代日本人の宗教観	・ 日本の風土の特徴を理解し、この風土における日本人の生き方について考えます。 ・ 今日の生活の中に見られる日本人の宗教観・倫理観について考えます。		5回	
中国思想	・ 中国思想における天や諸子百家の思想内容を、その歴史的社会的背景とともに理解します。 ・ 孔子の説く仁について、孝悌・忠・恕・信などさまざまな側面から捉え、仁の発露としての礼について理解します。 ・ 孟子の「性善説」、荀子の「性悪説」について知り、その考え方や社会観が現代にも示唆的であることを理解します。		6回	
世界三大宗教	・ キリスト教について、イエスの説く律法の内面化、神への愛と隣人愛の教えを中心に理解します。 ・ イスラームの成立、宗教的な義務と戒律を中心にその教えの特徴について知り、現代社会におけるイスラーム世界の全体像を理解します。 ・ ガウタマの思想を生んだ背景を知り、その悟りの中核とされる中道、四諦八正道、縁起の法について理解します。		7回	
目に見えないものの大切さ	・ 自己の体験などを通して、青年期の意義と課題への関心を高め、自己形成に向けて意欲的に探究し、他者とともに生きる自己の生き方について、現代の倫理的課題と結びつけて考えます。		8回	
教えられないことを学ぶ	・ パーソナリティの形成について、自己と他者のつながりのなかから理解し、すべての人にとっての「幸福」とは何かを考えます。 ・ 自己の将来について想像力をめぐらせ、具体的に表現します。		9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を9回提出してください。 ・ 3年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 倫理」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
数学Ⅰ	2年次以上	必履修	通年	40	3	9	3

科目の概要	数と式、図形と計量、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈、表現、処理したりする技能を身につけます。
科目の目標	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけます。さらに発展的な思考に基づき、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
身の回りにある計算	・ 身の回りにある数を知ることで、様々な事象の問題点に着目します。	1回	1回	実施予定なし
式の整理	・ 計算の基礎となる加法と減法について学びます。	2回	2回	
文字式、不等式	・ 文字を使った式の表し方を理解します。 ・ 数量の関係を不等式で表す方法を学びます。	3回	3回	
乗法公式、因数分解	・ 式の展開や因数分解の意味や方法を理解します。	4回	4回	
集合と要素	・ 集合についての用語やその意味を理解し、日常的な事柄にも集合の考え方を活用します。	5回	5回	
累乗、平方根	・ 累乗、平方根について理解を深め、それらを用いた計算に取り組みます。	6回	6回	
方程式	・ 方程式について理解を深め、それを活かした問題に取り組みます。	7回	7回	
三角比	・ 三角比の意味と相互関係について理解します。	8回	8回	
数学的思考の活用	・ 物事を整理し、自ら考え、答えを導く力の育成をはかります。	9回	9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を9回提出してください。 ・ 2年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書：「新 高校の数学Ⅰ」 教研出版
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
数学Ａ	3年次以上	選択履修	通年	30	2	6	2

科目の概要	場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につけます。
科目の目標	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
論理的思考	・ 物事を整理し、自ら考え、答えを導く力の育成をはかります。	1回	1回	実施予定なし
場合の数	・ 和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解します。	2回	2回	
確率	・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めます。	3回	3回	
期待値	・ 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の期待値を求めます。	4回	4回	
集合と要素	・ 集合についての用語やその意味を理解し、日常的な事柄にも集合の考え方を活用します。	5回	5回	
まとめ（全分野）	・ これまで学んできたことを再確認し、復習します。	6回	6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を6回提出してください。 ・ 3年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「新 高校の数学A」 教研出版
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
数学入門	1年次以上	選択履修	通年	40	3	9	3

科目の概要	数を分類し、そのつながりを理解します。数学を学ぶ上で必要な知識・技能や、身近にある「数」に触れることで、数学に興味を持ち、数学的に表現・処理したりする技能を身につけます。
科目の目標	高校数学を学習する前に、これまでの基礎を学び直し、再構築します。数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、創造性の基礎を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
四則計算	・ 計算式が成立するように、記号（＋,－,×,÷）を適切に選択します。	1回	1回	実施予定なし
整数と小数	・ 整数と小数の関係について理解し、乗法や除法の計算問題に取り組みます。	2回	2回	
分数の計算	・ 分数の意味を知るとともに、約分や通分、四則演算の方法を学びます。	3回	3回	
割合	・ 割合の意味を理解し、小数や百分率を用いて問題を解く方法を学びます。	4回	4回	
身近な計算、単位	・ 割合を用いて、消費税やタバコ税の計算に取り組みます。 ・ 様々な単位について学びます。	5回	5回	
速さ	・ 速さの意味や表し方を理解し、それに関する問題に取り組みます。	6回	6回	
いろいろな図形	・ 直角三角形の特徴を活かし、幾何学的に文字や絵を描きます。	7回	7回	
線対称、魔法陣	・ 線対称の意味を知り、軸を作図します。 ・ 魔法陣の意味を知り、答えを求めます。	8回	8回	
タングラム	・ ７つの図形を組み合わせて様々な形をつくり、辺や角、垂直や平行などの位置関係の理解を深めます。	9回	9回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、3時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を9回提出してください。 ・ 1年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
数学演習	3年次以上	選択履修	通年	30	2	6	2

科目の概要	様々な課題（論理的な思考）に取り組み、数学的に表現・処理したりする技能や、数学と人間の活動の関係について認識を深め、論理的に考察する力、数学的な要素を見いだす力を身につけます。
科目の目標	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導（ｽｸｰﾘﾝｸﾞ）	報告課題（ﾚﾎﾟｰﾄ）	メディア学習
物事を論理的に考える①	推理 ・ 物事を整理し、自ら考え、答えを導く力の育成をはかります。	1回	1回 2回 3回	実施予定なし
物事を論理的に考える②	表現 ・ 物事を整理し、自ら考え、説明する力を養います。	2回	4回 5回 6回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を6回提出してください。 ・ 3年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
科学と人間生活①	1年次以上	必履修	通年	40	4	3	1

科目の概要	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。
科目の目標	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
元素周期表・物質の三態	・ 元素の周期表及び原子の電子配置を理解します。 ・ 物質の三態及び状態変化を粒子モデルで理解します。	1回	1回	実施予定なし
宇宙・太陽系	・ 宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解します。	2回	2回	
ヒトの身体・細胞	・ ヒトの身体の仕組みを理解し、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解します。	3回		
プラスチック・金属・発酵食品	・ 金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解します。 ・ 発酵食品の仕組みについて、日常生活と関連付けて理解します。	4回	3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ まとめ課題
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位、2年次以上で1単位を分割して科学と人間生活を2単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 科学と人間生活」 新興出版社 啓林館
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
科学と人間生活②	2年次以上	必履修	通年	40	4	3	1

科目の概要	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。
科目の目標	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
食品と食品添加物	・ 食品中の主な成分の性質と食品添加物の種類について、日常生活と関連付けて理解します。 ・ 物質の三態及び状態変化を粒子モデルで理解します。	1回	1回	実施予定なし
衣料と繊維	・ 身近な衣料材料の性質や用途について日常生活と関連付けて理解します。	2回		
人間生活と環境	・ エネルギーの変換及び保存について、人間生活と関連付けて理解します。	3回	2回	
地震とエネルギー	・ 地震についての知識を深め、そこから起こる災害について、人間生活と関連付けて理解します。	4回	3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位、2年次以上で1単位を分割して科学と人間生活を2単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 科学と人間生活」 新興出版社 啓林館
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
生物基礎①	2年次以上	必履修	通年	40	4	3	1

科目の概要	生物の特徴やその進化と多様性、生態系などに関する基礎的な知識を習得させるとともに、環境問題や生態系の保全を主体的に考える態度を育てます。また、遺伝や免疫などのヒトの生命現象についての基礎的な知識を自らの生活と関連して習得します。
科目の目標	1．日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての知識を養います。 2．生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度と、生命を尊重する態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
細胞・顕微鏡の使い方	・ 細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解します。 ・ 顕微鏡を用いた観察の技能を身に付けます。	1回	1回	実施予定なし
染色体とDNAの構造細胞分裂	・ 染色体の構造について理解します。 ・ 細胞分裂を普段の生活と関連付けて理解します。	2回	2回	
ヒトの体	・ 人体の各器官について位置関係やその機能について基礎的な知識を身に付けます。	3回		
遺伝	・ 交配実験などの資料に基づいて、遺伝子の組み合わせが変わるとともに形質が変化することを理解します。	4回	3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ まとめ課題
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して生物基礎を2単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 新生物基礎」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
生物基礎②	3年次以上	必履修	通年	40	4	3	1

科目の概要	生物の特徴やその進化と多様性、生態系などに関する基礎的な知識を習得させるとともに、環境問題や生態系の保全を主体的に考える態度を育てます。また、遺伝や免疫などのヒトの生命現象についての基礎的な知識を自らの生活と関連して習得します。
科目の目標	1．日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての知識を養います。 2．生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度と、生命を尊重する態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
進化	・ 生命の起源に関する考えを理解するとともに、現在の生物への進化の流れを理解します。 ・ 進化について代表的な二説をもとに考えられるようになります。	1回	1回	実施予定なし
遺伝・血液型	・ 遺伝の様式を血液型の例を用いて考えられるようになります。	2回		
免疫	・ 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解します。	3回	2回	
予防接種の効果と意味 免疫が関係する病気	・ 免疫の防御機構をもとに、予防接種の仕組みを理解します。 ・ 免疫が関係する病気や症状を免疫機構と関連付けて理解します。	4回	3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して生物基礎を2単位修得します。

使用教科書	教科書：「高等学校 新生物基礎」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
体育①	1年次以上	必履修	通年	70	15	3	3

科目の概要	年齢・性別・体力に関係なく楽しく活動でき、生涯を通じてスポーツに親しめるような運動種目を取り入れ、運動の苦手な人も気軽に参加できるように、易しいものから試合形式のものまで選択をし活動します。選択座学の授業では健康・安全・運動についての理解を深めます。
科目の目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)		報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
グランド体育	・ 学校から二色の浜球技広場までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。グランドでソフトボール、サッカー、バレーボール、バドミントン等を選択して実施しています。	選択実技	1～15回	1～3回	実施予定なし
レクリエーション体育	・ 学校から二色の浜公園海浜緑地までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。バレーボール、サッカー、バドミントン、フリスビー等を選択して実施しています。				
卓球体育	・ 卓球のルールを理解します。準備体操の後に卓球のシングルス、ダブルスのゲームを楽しみます。				
・スポーツの歴史 ・有酸素運動	・ いろいろなスポーツの歴史、スポーツの楽しさに触れます。 ・ 有酸素運動についてどのように心身の健康増進効果が期待されるのかを理解します。	選択座学			

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、15時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 1年次以上で3単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
体育②	2年次以上	必履修	通年	70	10	2	2

科目の概要	年齢・性別・体力に関係なく楽しく活動でき、生涯を通じてスポーツに親しめるような運動種目を取り入れ、運動の苦手な人も気軽に参加できるように、易しいものから試合形式のものまで選択をし活動します。選択座学の授業では健康・安全・運動についての理解を深めます。
科目の目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)		報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
グランド体育	・ 学校から二色の浜球技広場までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。グランドでソフトボール、サッカー、バレーボール、バドミントン等を選択して実施しています。	選択実技	1～10回	1～2回	実施予定なし
レクリエーション体育	・ 学校から二色の浜公園海浜緑地までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。バレーボール、サッカー、バドミントン、フリスビー等を選択して実施しています。				
卓球体育	・ 卓球のルールを理解します。準備体操の後に卓球のシングルス、ダブルスのゲームを楽しみます。				
・運動と健康 ・準備体操	・ 運動を含めた健康的な生活習慣を知り、どのように行動するか考えます。 ・ 準備体操、ストレッチの種類を知ります。準備体操、ストレッチについてどのように心身の健康増進効果が期待されるのかを理解します。	選択座学			

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、10時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を2回提出してください。 ・ 2年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
体育③	3年次以上	必履修	通年	70	10	3	2

科目の概要	年齢・性別・体力に関係なく楽しく活動でき、生涯を通じてスポーツに親しめるような運動種目を取り入れ、運動の苦手な人も気軽に参加できるように、易しいものから試合形式のものまで選択をし活動します。選択座学の授業では健康・安全・運動についての理解を深めます。
科目の目標	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)		報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
グランド体育	・ 学校から二色の浜球技広場までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。グランドでソフトボール、サッカー、バレーボール、バドミントン等を選択して実施しています。	選択実技	1～10回	1～2回	実施予定なし
レクリエーション体育	・ 学校から二色の浜公園海浜緑地までの行き帰りのウォーキングも含めて体育の時間とします。バレーボール、サッカー、バドミントン、フリスビー等を選択して実施しています。				
卓球体育	・ 卓球のルールを理解します。準備体操の後に卓球のシングルス、ダブルスのゲームを楽しみます。				
・スポーツを漢字で書こう ・リーグ表を知ろう ・運動とストレス、心の健康	・ スポーツを漢字でどのように表すかを知るのと同時にスポーツの歴史についての理解を深めます。 ・ スポーツ大会で行われるリーグ戦のルール、見方を理解する。 ・ 運動によるストレス解消から気分転換やリラクゼーションについての理解を深めます。	選択座学			

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、10時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 3年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
保健①	1年次以上	必履修	通年	20	1	3	1

科目の概要	・健康のとらえ方、日常の生活行動と健康のかかわりについて ・健康にかかわる意志決定 ・ 心の健康について ・交通社会と応急手当 ・ 心肺蘇生法について
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
生活習慣病、がん	・ 健康とは何かを考え、健康的な生活習慣の理解をする。 特に生活習慣の中でも食と健康について理解を深めます。 ・ 応急手当の意義、方法について学び、考える中で自分も他人も大切にする気持ちを養います。	1回	1～3回	実施予定なし
応急手当の意義				
食事の大切さ				

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、1時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
保健②	2年次以上	必履修	通年	20	1	3	1

科目の概要	・健康のとらえ方、日常の生活行動と健康のかかわりについて ・健康にかかわる意志決定 ・ 心の健康について ・交通社会と応急手当 ・ 心肺蘇生法について
科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
睡眠の大切さ	・ 健康とは何かを考え、健康的な生活習慣の理解をする。特に生活習慣の中でも食と健康について理解を深めます。 ・ 自己理解、自分は何がしたくて、なにがしたくないのか。働くならどのような仕事をしたいのか、健康で幸せに働くためには、どうしたら良いのかを考えます。	1回	1～3回	実施予定なし
働くことと健康				
欲求と適応規制				

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、1時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 2年次以上で1単位修得します。

使用教科書	教科書：「現代高等保健体育」 大修館書店
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
書道Ⅰ－①	2年次以上	必履修	通年	40	4	4	1

科目の概要	中学校の国語科書写との相違を図り、芸術科書道の活動を通して、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深めます。
科目の目標	1．書道史をたどりながら古典の理解を深めます。 2．鑑賞眼を身につけさせ、その用筆・技法を習得します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
書写の確認 ・書写から書道へ ・用具、用材を知ろう	・ 小中学校までに学習した書写の内容を確認します。 ・ 用具、用材の種類や性能を理解します。	1回	1回	実施予定なし
表現の幅を広げよう ・用筆、運筆による表現の違い	・ 筆の毛の弾力を生かし、緩急や抑揚、筆圧の強弱、墨の含ませ方などの工夫により、表現の幅を広げます。	2回	2回	
仮名の書の学習 ・仮名の基本を学ぼう ・和歌を書こう	・ 仮名の成立と変遷について学びます。 ・ 仮名の書独特の筆づかいに慣れ、基本用筆を習得します。	3回	3回	
漢字仮名交じりの書の学習 ・自分らしい表現を求めて	・ 用具、用材と表現の関係を理解します。 ・ 文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付けます。	4回	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート作品） ・ 試験（実技テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート作品）を4回提出してください。 ・ 2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して書道Ⅰを2単位修得します。

使用教科書	教科書：「書道Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	受講の際、書道用具（墨・毛筆・半紙）は、全て学校で用意します。 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
書道Ⅰ－②	3年次以上	必履修	通年	40	4	4	1

科目の概要	芸術科書道の活動を通して、完成を高め、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばし、自己表現の方法を養います。
科目の目標	1．日常生活の書の効用を理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを深めます。 2．鑑賞眼を身につけさせ、その用筆・技法を習得します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
漢字の書の学習 ・篆書に親しもう	・ 線の太さが均一で、左右対称を基本とする縦長の冷厳で均斉のとれた字形を理解します。	1回	1回	実施予定なし
漢字の書の学習 ・篆刻を学ぼう	・ 姓名印を刻します。 ・ 落款と雅印の意義を知ります。	2回	2回	
漢字仮名交じりの書の学習 ・構成を工夫しよう	・ 自らの感性の高まりと、表現の可能性を感じ取ります。 ・ 漢字仮名交じりの書を鑑賞し、感じたことを話し合い自らの鑑賞力と他者の作品理解も深めます。	3回	3回	
漢字仮名交じりの書の学習 ・思いと言葉をつむぐ	・ 漢字仮名交じりの書で学んだことを生活に生かします。 ・ ことばと書の関係について考えます。	4回	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート作品） ・ 試験（実技テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート作品）を4回提出してください。 ・ 2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して書道Ⅰを2単位修得します。

使用教科書	教科書：「書道Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	受講の際、書道用具（墨・毛筆・半紙）は、全て学校で用意します。 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ-①	1年次以上	必履修	通年	40	4	4	1

科目の概要	実際のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝにおいて活用できる技能、知識、思考力、判断力、表現力、言語の働きを身につけるとともに、外国語の背景にある文化に対する理解を深めます。
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域の能力を育成するとととともに、主体的に外国語を用いてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとする態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
文字・音声	・ ローマ字（ヘボン式）の確認と、英語の文字と音声との関係を知ろう。	1回	1回	実施予定なし
日常的な単語・語句	・ 自分の身近にある英語に触れ、日常的に使えるようになろう。	2回	2回	
関心のある人物について知る "A Diary of Hope" アンネフランク	・ "A Diary of Hope"の英文を単語や文法を知りながら読み、理解しよう。 ・ アンネ･フランクの生き方を知り、自分の生き方を見つめ直そう。	3回	3回	
自分らしい表現 身近にある単語の語源を探る	・ 身近にある単語の語源を知り、言葉に対する興味や想像力を養おう。	4回	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位、2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して英語コミュニケーションⅠを3単位取得します。

使用教科書	教科書：「All Aboard! English Communication Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ-②	2年次以上	必履修	通年	40	4	5	1

科目の概要	実際のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝにおいて活用できる技能、知識、思考力、判断力、表現力、言語の働きを身につけるとともに、外国語の背景にある文化に対する理解を深めます。
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域の能力を育成するとととともに、主体的に外国語を用いてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとする態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
名詞、単数・複数形	・ 英語の数の概念を知ろう。	1回	1回	実施予定なし
be動詞	・ be動詞の働きを知り使い分けができるようになろう。		2回	
絵本 "The Rabbits' Wedding"	・ 絵本"The Rabbits' Wedding"を読み、単語の意味や文法を知りながら内容を理解しよう。	2回	3回	
歌 John Lennon "Imagine"	・ ジョン・レノンが"Imagine"の歌詞に込めた平和への思いを知り、考えよう。 ・ 歌詞の中の英語のリズムや表現を味わおう。	3回	4回	
英作文	・ 日本語と英語の文の作り方の違いを知り英文を作れるようになろう。	4回	5回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を5回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位、2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して英語コミュニケーションⅠを3単位取得します。

使用教科書	教科書：「All Aboard! English Communication Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ-③	3年次以上	必履修	通年	40	4	4	1

科目の概要	実際のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝにおいて活用できる技能、知識、思考力、判断力、表現力、言語の働きを身につけるとともに、外国語の背景にある文化に対する理解を深めます。
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域の能力を育成するとととともに、主体的に外国語を用いてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとする態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
映画 "The Great Dictator"	・ 映画『独裁者』の最後のスピーチに込められたチャップリンの思いを知ろう。 ・ スピーチの英文を理解し、英文の中に出てくる表現を使い、自分のことを表現できるようになろう。	1回	1回	実施予定なし
絵本 "Guess How Much I Love You"	・ 絵本"Guess How Much I Love You"の英文を理解し、物語を楽しもう。 ・ 相手に自分の思いを伝える表現を学ぼう。	2回	2回	
キング牧師の演説	・ キング牧師の"I have a dream"の演説からキング牧師の願いや思いを知ろう。 ・ アメリカの黒人差別の歴史を知ろう。	3回	3回	
マララ･ユスフザイのスピーチ	・ マララさんの国連でのスピーチに出てくる英文を理解し、マララさんの思いを知ろう。 ・ パキスタンという国で何が起こっているのか、マララさんの意志を受け継ぐ運動について知ろう。	4回	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 1年次以上で1単位、2年次以上で1単位、3年次以上で1単位を分割して英語コミュニケーションⅠを3単位取得します。

使用教科書	教科書：「All Aboard! English Communication Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
英語演習	3年次以上	選択履修	通年	40	4	4	1

科目の概要	実際に起こった史実を英文や歴史上の人物の言葉から知り、人間としてみんなで生きていくということについて考えます。
科目の目標	思いが込められたスピーチや言葉を英語を通して読み解き、伝えたかったことを掴み、自分なりに考えたことを表現します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
物語 "Pigs from across the Sea"	・ "Pigs from across the Sea"の英文を読み理解し、沖縄戦について知ろう。 ・ 戦後の沖縄の状況について知り、平和であることの意味を考えよう。	1回	1回	実施予定なし
映画 "The Great Dictator"	・ 映画"The Great Dictator"の最後の演説の一部を読み、人間として生きるとはどういうことかを深く考えよう。 ・ ヒトラーについて、また第二次世界大戦の惨禍について知り、チャップリンの生き方についても深く知ろう。	2回	2回	
人物 Malala Yousafzai	・ マララ･ユスフザイさんについて書かれた英文を読み、教育の大切さについて考えよう。 ・ マララさんという人物について深く知ろう。	3回	3回	
人物 Martin Luther King, Jr.	・ 「ワシントン大行進」の記念集会でのスピーチの一部を読み、キング牧師という人物について深く知ろう。	4回	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 3年次以上で1単位修得します。

使用教科書	教科書：「All Aboard! English Communication Ⅰ」 東京書籍
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
家庭基礎	2年次以上	必履修	通年	60	4	5	2

科目の概要	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、生活の向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
科目の目標	1．家庭や地域、社会生活の中から自ら課題を見出し、解決する力を養います。 2．様々な人と協働し、自分の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養います。

年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
	人の一生と青年期の自立	・ 人の一生を生涯発達の視点で捉えます。 ・ 青年期の課題を知りこれからの生き方について考えます。	1回	1回	実施予定なし
	子どもの発達と家族・地域社会	・ 子どもの成長と親や身近な大人との関りを理解します。 ・ 子どもの権利について知ります。		2回	
	私たちの食生活	・ 食事の栄養的、社会的、精神的、文化的役割を知り、生きる基本となる食事に対する関心を高め、重要性を理解します。 ・ バケツ稲の栽培実験や、収穫後の脱穀作業などを通して日本の稲作文化について理解を深めます。	2回	3回	
	食生活を見つめる	・ バランスの良い食事を計画できるよう、食品ごとの栄養素について学びます。 ・ 自分自身の食生活に関心を持ち、健康で豊かな食生活を送るための工夫をします。	3回		
	快適な衣生活	・ 衣服の持つ機能や安全性について知ります。 ・ 快適な衣服の特徴を知り、生活に生かす方法を学びます。	4回	4回	
	安全でここちよい住まい	・ 家庭内事故や災害について学び、安全な住環境について理解します。 ・ 快適でよりよい住生活の創造について考えます。		5回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。 ・ 報告課題（レポート）を5回提出してください。 ・ 2年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来」 教育図書
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
私たちのくらし	3年次以上	選択履修	通年	50	4	4	2

科目の概要	私たちのくらしを支える衣食住の中で特に食生活について深く学ぶ学校設定科目です。健康で豊かな食生活を自ら創造する力を養っていくために必要な栄養、食品、調理に関する基礎的な知識と技術を習得します。
科目の目標	学習活動を通して自分自身の食生活に対して関心を持つとともに、健康で豊かな食生活を創造するための基礎的な知識と技術を習得します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
私たちの食文化	・ 食事の意味を考えたり、日本の食文化について知り食と人との関りについて学びます。 ・ 健康や環境に配慮した豊かな食生活を創造する力を養います。	1回	1回 2回	実施予定なし
私たちの食生活	・ 食生活に対する関心を高め、食事の重要性について理解します。 ・ 食品の栄養的特性を知り、それを実際の食生活で生かしていきます。	2回	3回 4回	
みんなでおいしい食事を	・ 調理実習を通して食事作りに必要な基礎的な技術を習得します。 ・ 協働の作業と会食を通して食事の楽しみや豊かさを感じ、健康で豊かな食生活を主体的に創造する姿勢を育みます。	3回 4回	実習	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上と調理実習に出席してください ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 3年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	実習の際の調理器具は全て学校にあり、エプロンとタオルを持参してもらいます。 面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
情報Ⅰ	1年次以上	必履修	通年	50	4	4	2

科目の概要	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する方法を身に付けます。
科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指します。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
情報とその役割	・ 情報やメディアの特徴を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けます。 ・ 情報を整理し表現する練習に実際に取り組みながら表現力なども高めます。	1回	1回	実施予定なし
個人情報・知的財産にかかわる権利	・ 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解します。 ・ 名刺づくりなどの実習を通して情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解を深めます。	2回(実習)	2回	
コンピュータのしくみと働き	・ コンピュータで情報が処理されるしくみに着目し、10進法から2進法への変換について学ぶことを通してコンピュータでの情報の内部表現と計算に関して理解を深めます。	3回	3回	
情報セキュリティを守る技術	・ プログラミングへの言語や暗号化を学び、年賀状作成などの実習を通してコンピュータや情報通信ネットワークを活用しながら技能を身につけます。	4回(実習)	4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など)やパソコン実習への取り組み（意欲、興味、関心、課題解決能力） ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、4時間以上出席してください。また、2・4回は、パソコン実習の課題を作成してください。 ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書：「情報Ⅰ」 第一学習社
学習上の留意点	面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
総合探究①	1年次以上	必履修	通年	30	2	4	2

科目の概要	憲法で保障された人間らしく生きる権利を実現するために、心身の健康についての知識と理解を深め、自分もまわりの人も大切にしながら、より豊かに生きる力を育みます。
科目の目標	学習活動を通して心と身体の健康について知ることで、まずは自分自身を大切にする力を養います。まわりの人のことも大切にし、人とつながりながら豊かに生きることについて考え行動する力を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
憲法で保障された権利 薬物とはどういうものか	・ 社会を生きていく上で人間らしく生きる権利が憲法で保障されていることを知ります。 ・ 薬物など心身の健康を阻害するものについて知り、健康について考えます。	1回	1回 2回	実施予定なし
生殖のしくみ これからの生き方について	・ 月経のしくみについて理解します。 ・ 性交の意味と避妊、性感染症予防の重要性について知ります。 ・ 先輩の経験談や授業の内容をもとに命や自分の生き方について考えます。	2回	3回 4回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください ・ 報告課題（レポート）を4回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書等	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
総合探究②	2年次以上	必履修	通年	30	2	3	2

科目の概要	憲法９条、２５条、２６条で保障されている平和に生きる権利、人間らしく生きる権利、学ぶ権利についての知識と理解を深め、自分もまわりの人も大切にしながら、より豊かに生きる力を育みます。
科目の目標	映像を見るなどの学習活動を通して、平和に生きる権利、教育を受ける権利など人が生まれながらにして持っている権利、人とつながりながら豊かに生きることについて考え行動する力を養います。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
憲法9条と平和に生きる権利について	・ 自分もまわりの人もが幸せに生きていくためには、平和であることが前提であることを知ります。 ・ 平和に生きる権利は憲法9条により保障されていることを学びます。	1回	1回 2回	実施予定なし
憲法25条と人間らしく生きる権利について 憲法26条と教育を受ける権利について	・ 社会を生きていく上で人間らしく生きる権利、教育を受ける権利が憲法で保障されていることを知ります。 ・ その権利を実現するために自分たちにできることを考えます。	2回	3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 2年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
総合探究③	3年次以上	必履修	通年	24	2	3	2

科目の概要	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにします。
科目の目標	職業や自己の進路に関する学習を行い、探究に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の在り方生き方などを考えます。

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
労働法について	・ 憲法や労働基準法について理解し、働く人のルールを知ることを通して職業や自己の進路に関する意識を高めます。	1～2回	1回	実施予定なし
有給休暇について	・ 先生たちの体験や自分の経験を通して有給休暇の制度を学習し、いつか働く日のために具体的に考察・探究を行います。		2回	
最低賃金について 自分を見つめる	・ 最低賃金の仕組みや現状を理解します。 ・ 先輩の経験談（ようこそ先輩）や卒業式DVD鑑賞などの授業の内容をもとに自分の生き方・将来や進路について考えます。		3回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください ・ 報告課題（レポート）を3回提出してください。 ・ 3年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は１回が５０分授業です。

科目名	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	添削指導回数	単位数
産業社会と人間	1年次以上	選択履修	通年	30	2	2	2

科目の概要	産業社会における自己の在り方生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。
科目の目標	・社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成 ・我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察 ・自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

年間学習計画・学習のねらい

学習内容	到達目標	面接指導(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)	報告課題(ﾚﾎﾟｰﾄ)	メディア学習
労働基準法から働き方について学ぶ	・ 労働基準法で定められている最低賃金、労働時間、休日、そして、時間外労働などについて学び、自分が理想とする「働き方（労働条件）」について考える。 ・ 仕事やアルバイトを通して求められる「働き方」について考える。	1回	1回	実施予定なし
自分が就きたい職業について考える	・ ハローワークの役割と求人票の見方について学ぶ。 ・ 履歴書の書き方を学ぶ。	2回	2回	

評価方法	・ 面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・ 報告課題（レポート） ・ 試験（テスト）は実施しません。
単位の修得	・ 面接指導（スクーリング）は、2時間以上出席してください ・ 報告課題（レポート）を2回提出してください。 ・ 1年次以上で2単位修得します。

使用教科書	教科書は使用しません。
学習上の留意点	・ 受講の際、授業内で用いるプリント、教材等は、学校で準備します。 ・ 面接指導（スクーリング）は1回が５０分授業です。

※　添削指導（レポート）については、以下の内容を適用する。

①　前期は、5月・6月・7月にレポート支援日を設定する。なお、前期末試験を受けるためには、7月のレポート支援日までに報告課題（レポート）を提出しなければならない（令和6年度：5月29日・6月28日・7月23日）。

②　後期は、10月・11月・12月にレポート支援日を設定する。なお、後期末試験を受けるためには、12月のレポート支援日までに報告課題（レポート）を提出しなければならない（令和6年度：10月28日・11月22日・12月17日）。